

# 運営体制整備期

(1989~1991年度)

★これまでの取り組みの成果に加え、「FIFAワールドカップ」や「キャプテン翼」などの追い風もあり、メンバーも徐々に増えてきました。父親が指導に加わり、運営面での体制づくりに力を入れ、ほぼ現在のBJの基盤が形成されました。また、清水カップ全国少年草サッカー大会への初挑戦など、学年父母会を中心とした支援による遠征試合の流れもできてきました。

## 《運営体制整備に係る主な取り組み》

◎「学年父母会」・「学年父兄責任者」制度の導入や「育成活動の手引き」による父兄の運営参加のルール化、「BJオリンピック」の開始と「記録認定証」等の導入、遠征試合に向けた「経費積立制度」の開始、「試合記録票」導入、「父兄コーチ」の導入と養成、「卒部証書」授与を通じたOB意識の向上、「会則改正」によるOBとの連携強化、「審判員資格」の取得促進、試合や親子交流会を通じての「父親・母親」の活動促進、指導部会による計画的指導の実施 等々

年度	月	主な活動・トピックス等
1989 (平成元)	4月	父兄のマニュアルとなる「BJ育成活動の手引き」を作成
	5月	1年生の部員が増えたため父兄がコーチを担当
	6月	5年生が1学期市内大会で準優勝
	6月	3年生1学期市内大会で3位
	7月	愛川町の半原荘（練習：県警グラウンド）で2泊3日の夏合宿を行う。 練習試合では雷を伴う豪雨と晴れ間の強烈な目差しが交互に訪れ、夕方には水浸しのグラウンドとなる
	10月	3年生2学期市内大会で準優勝
	12月	トヨタカップサッカー観戦
	12月	スポーツ少年団スポーツテストとは別に「BJオリンピック」を考案し、キック力、ボールコントロール能力、判断力、瞬発力、持久力などを定期的・継続的に測定し各々の目標を定めることによって、成長期にある子供達の励みとするとともに、バランスのとれたチームづくりに役立てることとした（原則として各学期ごとに実施）
	1月	清水カップ全国少年草サッカー大会参加に向けての支援体制づくりのため5年生学年父兄会を結成し毎月の積立や廃品回収活動などをスタート
	2月	3年生3学期市内大会で準優勝
	2月	比々多招待少年サッカー大会で4年生が3位部門の優勝
	3月	6年生3名（12期生）及び亀津コーチとのお別れ会

## 1990 (平成2)

- 4月 清水カップ全国少年草サッカー大会への参加に向けて、資金の一部とするため6年生父兄等を中心にバザーを行う。部員勧誘のビラ配りも併せて行う
- 4月 清水カップに向けて全学年の協力により廃品回収を行う
- 5月 大津会長から寄贈されたゴールネットの張り替え
- 6月 厚木選抜として村林浩史君・伊藤行久君の両名選ばれる
- 6月 4年生1学期市内大会で準優勝
- 6月 2年生1学期市内大会で3位
- 7月 BJオリンピックと親子サッカーを行う
- 8月 愛川町の半原荘(練習: 県警グラウンド)で2泊3日の夏合宿を行う
- 8月 第4回清水カップ全国少年草サッカー大会にBJとして6年生(13期生)が初参加、4泊5日の楽しい思い出を沢山つくってくる(第8位決勝トーナメント(16チーム中)7位。総合順位254チーム中125位。)
- 9月 清水遠征報告会
- 9月 第10回こどもの国キリンカップ中学年の部に出場
- 10月 4年生2学期市内大会で準優勝
- 10月 荻野運動公園で日本サッカーリーグ試合観戦
- 10月 臨時父兄会をもち、来年度以降の遠征試合に備えての準備、グラウンド改修工事に伴うグラウンド変更、新入部員募集等について話し合う
- 11月 2年生2学期市内大会で若宮との接戦のPK戦の末に第3位
- 12月 スプリングラー設置に伴うグラウンド改修工事のため3月まで厚木南青少年広場を練習湯所とする
- 12月 第4回横須賀カップ招待に4年生参加
- 12月 BJオリンピック・親子サッカー・納会をまとめて行う。これまでのBJオリンピックの成績に基づき、賞状とメダルを授与。親子サッカーには多数の参加を得て、ゴールネットの張り替えなども
- 12月 第4回横須賀カップ招待に6年生参加
- 2月 2年生3学期市内大会で準優勝
- 2月 比々多招待少年サッカー大会で4年生が順位別トーナメント1位パートで第3位
- 3月 厚木市招待サッカーフェスティバルの一環として開催されたセルジオ越後の講演会やサッカー教室に多数参加
- 3月 6年生15名(13期生)及び鈴木コーチとお別れ会で卒部証書やコーチへの感謝状を授与
- 3月 総会においてクラブ会則の全面改正と後援会会則の一部改正を行う

●第14回FIFAワールドカップ・イタリア大会開催。西ドイツが優勝する。カメルーンがアフリカ勢初のベスト8。ベッケンバウアーが監督として優勝を勝ち取った。

## 1991 (平成3)

- 4月 活動予定表を一新する
- 4月 初企画のBJ親子ふれあいハイキング(七沢森林公園)に80名余りが参加
- 6月 図書「少年サッカーの指導」を各家庭に斡旋し父兄のサッカーへの理解を求める
- 6月 3・4年生がビデオによるルール学習をする
- 7月 厚木選抜選考会に6年生3名、5年生2名がチャレンジするが実現なら
- 7月 フジタSCサッカー教室に3年生を中心として参加
- 8月 3年生の1泊合宿(飯山「かじや」)
- 8月 東海カップに向けての早朝練習を行う

- 8月 群馬県嬭恋村の東海大学嬭恋研修センターで**第5回毎日東海カップサッカー大会**が開催される。**夏合宿**を兼ねて4年生以上の29名が参加し、3泊4日を有意義に過ごし、楽しい思い出と**優勝カップ**をおみやげにする（長いバスの旅、霧の中での試合の数々、最後の1分での得点による優勝獲得、キャンプファイヤー、ボート遊び、マラソン大会、ポリューム一杯の食事など、皆の思い出はつきない。）
- 8月 **全日本ユースサッカー選手権大会観戦**（5年生）
- 8月 毎日東海カップ**祝勝報告会**を行い参加者一人ひとりカップを抱えての記念写真をとる
- 10月 **全日本ユースサッカー選手権大会観戦**（6年生）
- 10月 **ビデオによる学習**（3年生以下）
- 10月 3年生2学期市内大会で3位
- 11月 秋晴れの下で**初企画の親子交流芋煮会と不用品交換市**を行い多数の親子の参加を得る。**BJの強化・発展のため「観るスポーツ」から「するスポーツ」への方向転換を求め、練習方法やルールを記した小冊子を参加父兄に配布し、12月の父親・母親大会を目指しての練習も行う**
- 11月 6年生2学期市内大会準決勝でGPを相手に善戦
- 12月 隼イレブン親善試合に5・6年生参加し優勝
- 12月 父兄の大会はグラウンドの都合で中止に。鳶尾との練習試合で負傷者を出しながらもよく健闘し、戻っての残念会ではかつてない程の盛り上がり
- 12月 毛利台招待少年サッカー大会で6年生準優勝
- 12月 親子交流会の後の納会で今までの**BJオリンピック記録認定とメダルの授与**を行う
- 1月 新春初蹴りでおしるこを振る舞う
- 1月 県選手権で4年生ブロック準決勝まで進み善戦
- 2月 東京ドームでの**コダック'92オールスターサッカー**を親子50名が観戦
- 2月 菊地原さんが**BJとして初めての4級審判員資格**を取得
- 2月 3年生3学期市内大会で3位
- 3月 町田SCJと6年生最後の試合
- 3月 6年生8名（14期生）及び伊藤コーチとお別れ会を盛大に行う。**伊藤コーチも感極まり涙**をみせる。引き続き6年生やコーチのお別れボウリング大会も楽しく過ごし、父兄はコーチを囲んでの2次会・3次会で異常なほどの盛り上がり